

(平成 26 年 3 月試験研究業務月報)

飼料用米等を活用した京都版地域資源循環ビジネスモデルの提案

研 究

京都産のお米を食べて育った牛のお肉の試食会を開催

～ 消費者やシェフから商品のPRポイントを聞き取り調査 ～

当センターでは、京都大学とともに地域の水田を守る取組として和牛へのお米の給与に着目した研究を行っています。3月27日に「京都府産のお米を食べて育った牛のお肉の試食会」を消費者やレストランのシェフ、生産者など97名の参加を得て初めて開催しました。

試食後のディスカッションでは、「お米育ちの牛肉は、あっさりしているが旨みがあっておいしい」や「お米が京都府産であることを積極的にPRした方が良い」、「棚田景観は大切な資源であり守ることに意義を感じる」などの意見があり、今後、これらの意見を踏まえて、食料自給率の向上や農村風景の保全をポイントに、京都ならではの和牛肥育のビジネスモデル提案を行うこととしています。



お米で育った牛肉を食べながら意見交換（京都市あじわい館）